

重度障害者のための

ゼロからはじめる視線入力 in 山形!

フォローアップ研修会



今年2月22日に山形市総合福祉センターで行われた本研修会。それに次ぐ第2弾です。今回はフォローアップの意味を込めて、よりの確に現場で活用するにはどのようにしたらよいか、ポイントをお伝えいたします。

教育福祉分野における視線入力活用の第一人者である伊藤史人氏(島根大学助教)を招いて、もう一度ゼロからお話を伺います。すでに視線入力を導入されていてしている方は、日頃疑問に思っていることをこの機会に解決させましょう。

みなさまのご参加をお待ちしています!

日時 2019年9月22日(日) 13時30分~16時30分

※開場 13時15分

場所 山形テルサ リハーサル室

山形県山形市双葉町1-2-3 TEL:023-646-6677

内容 視線入力の基礎から活用事例の紹介・

よく使われるアプリケーションのデモ・質疑応答

定員 約50名

参加費 1,000円 ※資料代として



秋田きりり支援学校研究報告書より

講師 伊藤 史人

島根大学総合理工学研究科 助教

重度障害者のICTを活用したコミュニケーション支援技術を研究。教育福祉分野において実践を重視した研究開発を行っている。日本一使われている視線入力訓練ソフトである「EyeMoT (アイモット)」の開発者。バリアフリーマップアプリ「WheeLog! (ウィーログ)」の技術責任者。

2017年、NHK日本賞にてクリエイティブフロンティア部門最優秀賞受賞、その他各種受賞多数。



☆ お申し込みは Doorkeeper からお願いします ☆

Doorkeeper

☆ 問い合わせ先 ☆

080-5225-3482

遠藤麻里 (山形県立山形養護学校 講師)

または,

090-2608-5156

菊池直実 (岩手県立一関清明支援学校 教諭)

Email:ictmorioka@gmail.com



<http://bit.ly/2MvU6aA>

主催 島根大学ヒューマンインターフェース研究室(出雲国スイッチ工房)